

競技方法

競技規定

(公財)全日本空手道連盟・空手競技規定に準じて、大会要綱により行う。

形競技 個人戦

1. 敗者復活戦は行わない。
2. 3位決定戦は行わない。(3位2名)
3. 1回戦～決勝戦まで「トーナメント」の「フラッグ方式」で行う。
4. 全ての階級及びカテゴリーの形競技は、1回戦～準決勝戦まで赤青2名同時に演武し、決勝戦は赤青の1名ずつで演武する。
5. 全ての階級及びカテゴリーの形競技で、「形エントリーシート」運用を行わない。
6. 形競技個人戦における形の選定
 - (1) 無級～6級の部
全年齢カテゴリーにおいて、各会派基本形及び全空連基本形一～四の中から選んで演武し、1回戦～決勝戦まで同じ形を繰り返し演武してもよい。
 - (2) 5級～1級の部
 - ① 小学生・中学生は、1回戦～4名残し戦まで、全空連基本形一～四の中から選んで演武し、同じ形を繰り返し演武してもよい。
準決勝・決勝戦は、これまで演武していない全空連基本形一～四及び全空連第1・第2指定形の中から選んで演武し、準決勝・決勝戦は、同じ形を連続して演武してもよい。
 - ② 少年・一般は、1回戦～4名残し戦まで、全空連基本形一～四及び全空連第1・第2指定形の中から選んで演武し、同じ形を繰り返し演武してもよい。
準決勝・決勝戦は、これまで演武していない全空連基本形一～四及び全空連第1・第2指定形の中から選んで演武し、準決勝・決勝戦は、同じ形を連続して演武してもよい。

組手競技 個人戦

1. トーナメント方式にて行う。
2. 敗者復活戦は行わない。
3. 3位決定戦は行わない。(3位2名)
4. 競技時間と勝敗

※全ての階級及びカテゴリーの1回戦～決勝戦の競技時間は、男女ともに1分間フルタイムとする。

※全ての階級及びカテゴリーの勝敗は、競技時間内に4ポイント差がついた時又は競技時間終了時ポイント数の多い選手を勝者とする。

※特別ルール:有級者大会につき、安全面を考慮して「一般の部」についても、「カデットルール」を採用する。

東京武道館 1階フロアマップ

